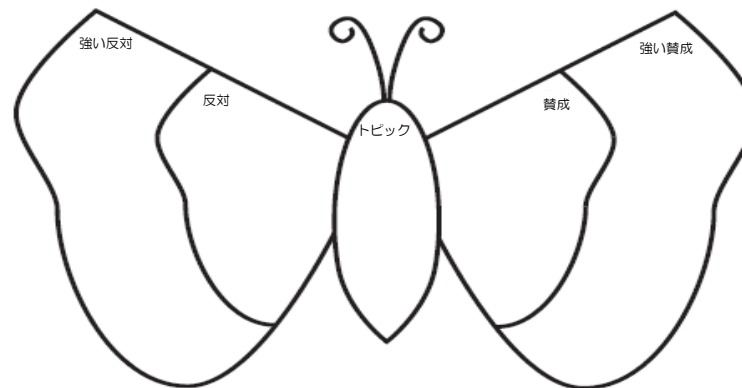


バタフライチャート

中央に書き入れたトピックについて、賛成、反対、強い賛成、強い反対の意見をもつ人の気持ちになって、その意見と理由を書き入れる。ものごとの光の面・影の面の両面から物事を見ることを促す。賛成、反対ともに、より強い意見をもつ人も視野に入れることで、さらに深くトピックのもつ多義性・多面性に迫らせようとするものである。そして、賛否両方の立場に立った意見文や発表、学習のまとめをつくらせることができる。また、どのように強弱を判断したかも含めてアイデアをまとめることで、説得力のある意見を生むことが期待できる。

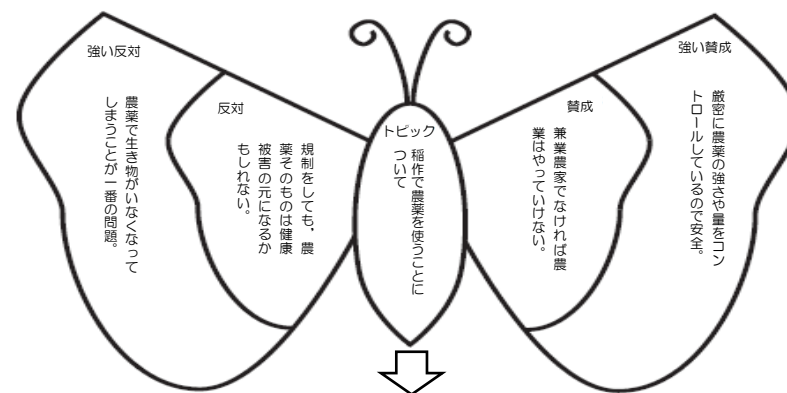
バタフライチャート



【使い方】

- ①意思決定をすべきトピックを真ん中の胴体部分に書かせる。
- ②トピックについての情報を集める。その時、賛成、反対の両方の情報を意識して集めるようにさせる。
- ③集めた情報をもとに、賛成、反対の理由と、さらに強い賛成、強い反対の理由について整理させる。
- ④賛否の意見を押さえた上で、自分の意見を決めさせる。
- ⑤自分の意見について、賛否両方の意見を踏まえながら、意見文や発表原稿、学習のまとめなどをつくらせる。

バタフライチャート 例 小学5年社会「米作りのさかんな地域」



今の科学では分かっていない害があるかもしれないため、農業の利用には反対したい。しかし、農家の仕事や外国からの輸入米のことを考えると、そうも言えない。農薬を使わず、かつ収入に結びつくような仕組みが大事だと考える。